

編集後記

『都市文化研究』16号をお届けします。本号は、論文3本、研究ノート3本にくわえ、特別寄稿2本、研究展望2本、シンポジウム特集1本、書評1本、海外レポート2本など、多彩な内容で構成することができました。内容は、ヨーロッパの歴史と言語に始まり、日本の中世や近世、近代における都市形成や芸能、流通、貸借関係、さらには現代インドネシアの文化政策や中国・宋代の都市空間や信仰をめぐる問題などなど、にまで及んでいます。

また、シンポジウム記事は、近年、社会学や文化学で注目されつつある「やおい／BL」を取り上げ、それを対象化する方法をめぐって交わされた議論を紹介するものです。

本号の各記事には、書評や海外レポートも含めて、都市文化研究センターが推進している頭脳循環やドクター研究員によるプロジェクト、文学研究科の各専攻・専修が進めている、高度で学際的な研究活動の成果が随所に反映されています。内外の、多くの分野にわたる研究者にお読みいただきたく、評価あるいは批判していただければ幸いです。

今回の表紙写真には、編集委員でもある長谷川健一氏からご提供いただいたハンブルグ市庁舎の印象的なスナップを使わせていただきました。この場を借りて、お礼申し上げます。

(久堀裕朗・編集委員長／佐賀 朝・第16号編集主任)

編集委員

- 久堀 裕朗・編集委員長 (大阪市立大学大学院文学研究科准教授, UCRC 常任研究員, 国語国文学)
佐賀 朝・第16号編集主任 (大阪市立大学大学院文学研究科准教授, UCRC 常任研究員, 日本史学)
川野 英二 (大阪市立大学大学院文学研究科准教授, 社会学)
祖田 亮次 (大阪市立大学大学院文学研究科准教授, UCRC 常任研究員, 地理学)
滝沢 潤 (大阪市立大学大学院文学研究科准教授, UCRC 常任研究員, 教育学)
長谷川健一 (大阪市立大学大学院文学研究科講師, ドイツ語フランス語圏言語文化学)
平田 茂樹 (大阪市立大学大学院文学研究科教授, 東洋史学)
イアン・リチャーズ (大阪市立大学大学院文学研究科准教授, 英語英米文学)

岡村 俊史・編集補佐